

平成25年2月27日

第10回 ジャパン・ヤーン・フェア&総合展「THE 尾州」 開催結果について

(財)一宮地場産業ファッションデザインセンターでは、2月20日～22日に、「第10回 ジャパン・ヤーン・フェア&総合展『THE 尾州』」を一宮市総合体育館で開催しました。

来場者数6,534名の内訳をはじめ各種イベントの開催レポートをお知らせします。

○開催概要

会 期：平成25年2月20日～22日（午前10時～午後5時）

会 場：一宮市総合体育館DIADORAアリーナ ほか

来場者数：6,534名（ビジネス4,161名、一般2,373名）

○総括レポート

(財)一宮地場産業ファッションデザインセンター主催の「第10回ジャパン・ヤーン・フェア（JY）&総合展『THE 尾州』」は2月20日から22日の3日間、一宮市総合体育館で開催されたが、会期中の来場者は6,534名で、前回は28.2%、1,440名上回る盛況となった。これは10回目となった国内唯一の糸の展示会であるJYが、わが国繊維・ファッション業界に広く認知され、その結果「マストイベント」に定着したことに加えて、総合展「THE 尾州」が尾州産地を考える会の素材等展示、ジャパン・テキスタイル・コンテスト2012優秀作品展など13の展示やファッションショーなど多彩な内容で展開されたことによる。

今回の「JY&総合展『THE 尾州』」の来場者は3日間計で6,534名となったが、その構成比は素材メーカー22%、商社・問屋17%、アパレル・小売7%、その他業界関係者18%、学生・一般36%であった。

今回学生・一般が多かったのは「翔工房」、「文部科学省助成人材育成プロジェクト作品展」、「一宮高等学校ファッション創造科卒業研究作品発表会」などの学生作品成果展示や産地アピールキャンペーン（TGC in NAGOYA 参加作品）、いちみんのミサンガづくり無料体験コーナー、尾張西部地場産品特設販売コーナーなど市民参加のブースなどへの来場者が多かったため。

主催者は会期中、一宮駅・JR木曽川駅の両駅と会場を結ぶ無料シャトルバスを運行し、来場者の便宜を図ったが、その合計利用者は3日間で2,673名に及んだ。シャトルバス内で上映した尾州産地に関するDVDについても、利用者からは「事前知識となった」と好評だった。

ビジネス関連では当然JY出展企業にとっての顧客である素材メーカーが22%を占めたが、尾州産地を考える会展示会の対象者と見られるアパレル・小売は7%、その両方にまたがる商社・問屋は17%であった。アパレルや小売の中にはテキスタイルメーカーと一緒にJYブースを回る姿も多数見られた。今回は特に①東西の大手アパレル、百貨店②名古屋・岐阜のアパレルの来場が目立った。

○イベントレポート

<1日目>

・オープニングセレモニー

オープニングに先立ち、紀村中部経済産業局長（写真右の右から2人目）を来賓に迎え、テープカットを行った。参加者171名。



・ジャパン・テキスタイル・コンテスト（JTC）2012セレモニー

オープニングセレモニー引き続いて行われたJTC2012セレモニーでは、一般の部ノミネート作品12点、学生の部ノミネート作品6点よりグランプリ、スプラウト賞以下各賞をその場で発表し表彰した。受賞者をはじめ参加者225名。



- ・懇親会

オープニングセレモニー、J T C 2 0 1 2 セレモニー直後に、関係者・J T C 2 0 1 2 受賞者を交え懇親会を開催した。

- ・ F D C 開館 3 0 周年記念講演

廣内武氏（日本アパレル・ファッション産業協会理事長）を講師に迎え、「私とファッションとの関わり」をテーマに基調講演を開催、285名が聴講した。



< 2 日 目 >

- ・ 尾州匠コレクション

匠ネットワークが「ウールプラス」をテーマに春夏素材20点を開発。製作者が糸からこだわり抜き、その技術を惜しみなく注いだものづくりの“横顔”を発表した。65名が傍聴。



- ・ 産地アピールキャンペーントーク&ファッションショー

尾州産地の素材メーカー2社とアパレル小売「M. deux」が手を組み、TGC in NAGOYAでのステージ衣装8点を製作。それぞれの担当者がその製作の舞台裏から尾州産地の展望まで熱く語った。最後は8点のファッションショーで、尾州産地の素材の可能性を230名の来場者の前で広く発信した。



- ・人材育成プロジェクト作品ショー（主催：文部科学省助成人材育成プロジェクト）
名古屋学芸大学大学院、名古屋学芸大学、文化ファッション大学院大学、杉野服飾大学、名古屋ファッション専門学校が製作した衣装20点のファッションショーを開催。学生を中心とした観覧者は550名に上った。



- ・翔工房作品発表会

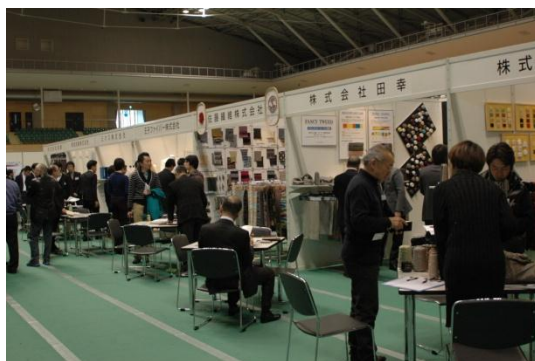
ファッション系学生23名が、イメージを元に、匠ネットワークの支援を受け、布地からこの世に一つしかない衣装を製作した。各学生が、観覧者192名の前で、製作にあたっての講師とのイメージのすり合わせや地道な手作業等、オリジナル作品ならではの苦労話を語った。



※3日目のイベント開催は無し。

○その他各コーナーの様子

・ジャパン・ヤーン・フェア



来場者からは「糸の展示のビジュアル化が進んでおり、糸展とは思えない見やすい内容であった」という声も聞かれた。

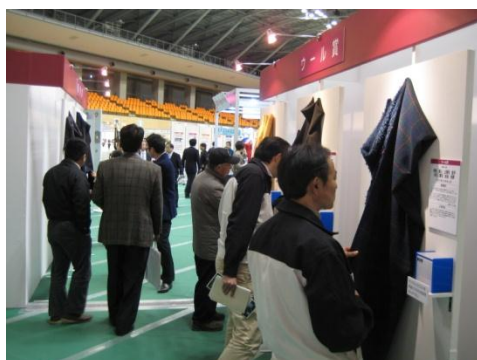
・尾州産地を考える会展示会





尾州産地を考える会展示会場では、中央に各社の強みを活かした商材を展示するだけでなく、より深い商談を希望する7社は専用ブースを構えた。

・ J T C 2 0 1 2 優秀作品展



来場者からのサンプルリクエストを受け付けるため、一般の部の各作品には名刺入れを設置した。

・ 産地アピールキャンペーン





8体の衣装の正面には50インチを超えるモニターでTGC in NAGOYAの模様を上映した。

・いちみんのミサंगाづくり無料体験コーナー



ミサंगाづくり専用キットを来場者へプレゼントした。

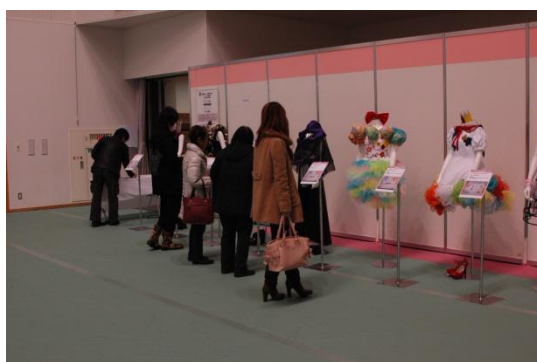
・尾張繊維技術センター研究・試作展



・尾州インパナ塾作品展



・一宮高等学校ファッション創造科卒業研究作品発表会



1st WALTs（ファーストワルツ）と銘打ち、20点の衣装を展示した。

・尾張西部地場産品特設販売コーナー



尾張西部の自治体による地場産品の販売にとどまらず、愛知県、一宮商工会議所によるPRコーナーも設置した。

○来場者アンケート

会期中、会場内で来場者に対してアンケートを実施した結果は以下の通り。

・回収数：866件

- ・回収率：13.3% (866 件/6,534 名)
- ・来場回数 (今回で) n=863
はじめて 38.8% 2 回目 18.7% 3 回目 8.7% 4 回目以上 33.8%
- ・来場契機 (複数回答可) n=961
JY 企業の案内 29.3% FDC の案内 21.6% 尾産地会企業の案内 11.8%
新聞記事 9.7% 新聞広告 3.1% 自治体広報 2.8% FDC の HP 2.6%
その他 19.1% (学校関係、テレビ等)
- ・来場目的 (複数回答可) n=1,315
JY 47.5% 尾産地会展 16.3% 匠コレ 12.5% 翔工房 6.1%
JTC2012 展 5.5% 一宮高校 3.6% 人材育成 P 3.0%
産地アピール (TGC) 2.4% FDC 開館 30 周年記念講演 1.0% その他 2.1%
- ・良かったイベント (複数回答可) n=1,422
JY 41.2% 尾産地会展 15.2% 匠コレ 15.0% JTC2012 展 7.7%
翔工房 7.2% 一宮高校 4.7% 産地アピール (TGC) 3.9%
人材育成 P 2.9% FDC 開館 30 周年記念講演 0.6% その他 1.6%
- ・次回も来場したいか n=855
はい 93.8% いいえ 1.2% どちらでもない 5.0%

○来場者内訳 (下段は前回実績)

	ビジネス				学生・一般	合計
	素材メーカー	商社・問屋	アパレル・小売	その他		
1 日目 (2/20)	484 (443)	436 (345)	141 (94)	383 (312)	301 (360)	1,745 (1,554)
2 日目 (2/21)	502 (460)	348 (395)	140 (114)	449 (403)	1,044 (347)	2,483 (1,719)
3 日目 (2/22)	446 (551)	341 (415)	152 (195)	339 (324)	1,028 (336)	2,306 (1,821)
合計	1,432 (1,454)	1,125 (1,155)	433 (403)	1,171 (1,039)	2,373 (1,043)	6,534 (5,094)